

墨田区立図書館 ・コミュニティ会館図書室 Newsニュース



図書館電話案内サービス TEL : 3 6 1 2 - 6 0 4 8

図書館ではティーンズ（10代）サービスを充実させています

本との出会いは一期一会。みずみずしい10代の感性のときに、いろいろな本にふれてみませんか？ きっと、何かが見つかるはず...！

～ ひきみね図書館4階～

ティーンズ・ルーム

10代向けの本を多数用意しています。最新雑誌から学校情報まで盛りだくさん！
毎月スタッフのオススメ本の特集もしています。ぜひ気軽に遊びにきてください



～ 何を読めばいいのかわからないアタタに～

ティーンズ情報誌「10代のための本棚」



昨年からはじまった情報誌の最新号（VOL.3）を5月中旬に発行しました。区内の全中学校生徒へ配布しています。オススメ本（小説、知識の本）、墨田コラム、図書館物語などを掲載！ 中学生ではないけど見たい、という方は図書館までどうぞ



ティーンズホームページもはじまりました。オススメ本の紹介や、情報誌のPDF版（バックナンバーもあり）を掲載。アドレスは <http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

墨田区ひきふね図書館パートナーズ企画！ 「ひきふねまなびや」プライベート

英語多読講演会 & 体験会 初級編 を開催します

【日時】平成25年6月22日(土)14時~15時30分

【会場】ひきふね図書館 2階プロジェクトコーナー

【講師】繁村一義先生(「NPO多言語多読」)

【内容】英語多読の楽しさを多くの方に知っていただくために、初級編セミナーを行います。
繁村一義先生(「NPO多言語多読」)より英語多読についてお話しいただき、実際に体験していただきます。

【対象】小学生以上(区内在住・在勤・在学) 【定員】先着20名 【参加費】無料

【申込み】6月1日(土)~

ひきふね図書館カウンターへ申込書を持参

または電話：03-5655-2350 FAX：03-5655-2351 にて受け付けます。

【問合せ】ひきふね図書館 03-5655-2350



「英語多読ってなあに？」

やさしい英語の絵本から始めて
とにかくたくさんの本を読むことで、
英語を楽しむ学習方法です。

各図書館・図書室に申込欄付きチラシがございます。

八広図書館限定開催！ 大人のための「本のお楽しみ袋」

何が入っているかは開けてからの楽しみ！

6月1日(土)から、八広図書館限定で大人のための「本のお楽しみ袋」を貸出いたします。どんな本が入っているかは開けるまでわからないお楽しみ袋。これは、特定のテーマのもとに図書館スタッフが選書した3冊入りの本を1袋として貸し出すイベントです。袋についているメッセージカードのヒントをもとに内容を選べます。

このお楽しみ袋を契機に、新しいジャンルへ読書の幅を広げてもらえれば。お家に帰って開けてみて、そして読んでみて楽しんでください！

- ・おひとり様1日1袋まで。
- ・貸出期間は2週間。
- ・八広図書館のカウンターのみ貸出・返却。(ブックポスト・他館返却不可。)
- ・一日に出すお楽しみ袋の数には限りがありますので、当日分が終了している場合もございます。お気をつけ下さい。

〔期間〕6月1日(土)~6月30日(日)

〔場所〕八広図書館 展示コーナー

八広図書館限定
大人のための
本のお楽しみ袋

● 期間：6月1日(土)~6月30日(日)
● お一人様1日1袋まで。
● 八広図書館のカウンターのみ貸出・返却。
● 当日分が終了している場合があります。

墨田区立八広図書館

こども行事にご協力いただいている ボランティアを紹介します！

ひきふね図書館こどもとしょしつをはじめ、各図書館のこども行事にご協力
いただいているボランティアグループを紹介します。

★ おはなしポット 絵本の読み聞かせ・グリム童話の朗読など、子どもたちにいろ いろな物語の世界を紹介してくれます。

ひきふね図書館こどもとしょしつ

「おはなしのじかん」

毎月第1土曜日午前11時～

毎月第3土曜日午後3時～

偶数月第2土曜日午後3時～

} 絵本の読み聞かせ・紙芝居など
...グリム童話の朗読

緑図書館

「おはなしのへや」 毎月第3水曜日午後3時15分～

八広図書館

「おはなしとあそびのじかん」 毎月第1・2・3・5土曜日午前10時半～

★ おはなしの会「つくしんぼ」 パネルシアターやペープサートなどで楽しいお 話会をしてくれます。

ひきふね図書館こどもとしょしつ

「おひざでえほん」 毎月第4火曜日 午前10時30分～

「おはなしのじかん」 毎月第4土曜日 午後3時～

緑図書館

「小さい子どものためのおはなし会」 毎月第1木曜10時半～

八広図書館

「おはなしひろば」 毎月第4土曜日午前10時半～

夏と冬の「おたのしみ会」についても、各館に協力していただいています。

★ 語らいの森 日本や世界の昔話のストーリーテリング（素話）など、読み聞か せとは違った物語の世界へ案内してくれます。

ひきふね図書館こどもとしょしつ

「おはなしのじかん」 奇数月第2土曜日午後3時～

また、ひきふね図書館のプレオープンイベ
ントでは、「おはなしポット」と「つくしんぼ」
がおはなし会を、そしてボランティアグルー
プ「ブックサークル玉手箱」が人形劇をする
など、多くの親子が楽しみました。





今月の特集コーナー

館名	今月の特集コーナー
ひきふね図書館	一般書：「曳舟の今昔」 ティーンズサービス〔T.S〕：「雨の日は読書日和」 児童書：「おでかけ」「おひさま」
緑図書館	一般書：「手紙」 ティーンズサービス〔T.S〕：「ちょボラしてみる？」 児童書：「時間・時計の本」
立花図書館	一般書：「憲法を考える」 児童書：「悩みごとひきうけます！！」 えほんのひろば：「ふしぎがいっぱい??」
八広図書館	一般書：「グリーンライフ ガーデニング 盆栽」「旅に出たい」 児童書：「お天気」
東駒形コミュニティ 会館図書室	一般書：「恐怖の扉（フィクション編）」「夏を涼しく」 児童書：「名作絵本をよもう！」「すくすくげんき！」
梅若橋コミュニティ 会館図書室	一般書：「雨の日には音楽を」 児童書：「あめのひのすごしかた」
横川コミュニティ 会館図書室	一般書：「Relax Time ~心と身体を癒しましょう」 児童書：「ぼうけんにいこう」「おとうさん」

私の本棚



「出光佐三 反骨の言魂」ことだま 日本人としての誇りを貫いた男の生涯」

水木 楊著 PHP 研究所

4月に発表がありました2013年本屋大賞に選ばれました、長編小説『海賊とよばれた男』（百田 尚樹 作）が昨今話題となりました。これに関連して、その主人公のモデルである出光佐三にかかるノンフィクションについて取り上げます。

本書で描かれている出光佐三は、現在の石油元売り大手の出光興産株式会社の創業者です。出光佐三で有名なのは、戦後の敗戦間もない日本にあつて、欧米の石油メジャーが巨大な影響力を与えつづけていた石油業界で、英国石油メジャーからの束縛を嫌い、国有化を宣言したイラン国からの石油の輸入ため、英国の妨害をはねのけて、アバダン港に到達し、見事石油の輸入に成功した事件でしょうか。

主人公の行動に共通している商売哲学は、自身一個の利益の前に、国、公共、仲間といった公共の利益確保も意識の根底にあるものです。ですから「単に儲ける」のではなく、「消費者や国の利益」を意識しつつ行動するのです。

創業当初、出光は、日本石油の代理店となつたものの、石油を取り扱うことができず、潤滑油からの参入となります。そんな厳しい状態でも、知恵と工夫と行動力とを用い、他社が諸条件に適合する品質の潤滑油を販売する意識がないところを、国内の大手工場や当時の大会社

であつた南満州鉄道株式会社に対して、機械や装置、季節、使用環境といった諸条件に適合した品質のものを調査することで他社よりも優れた製品として販売することで、信用を得ていくこととなります。

また、将来の石油不足を察知した場合には、多くの顧客に備蓄を勧めつつ、燃料相場が高騰した折でも安定価格を続け、暴利をとらず適正価格を貫き、次第に顧客や地域の住民から大きな信頼を得、結果として会社の大発展につながっていきます。

このほかにも、会社の人を大変大事にしています。社内の人を商売哲学の面や行動面から育成していますし、戦後の大不況時の折にも一人として解雇せず、ラジオ修理などの本業を外れた仕事や日本海軍が対応できずに打ち捨てたタンク底の油の回収などに必死で取り組むなど、困難な仕事をやり遂げることで、かえって評判と信用を上げ、戦後の回復のきっかけにしています。

全体を通じて流れるのは、事業家の領域を大きく超えるほどの知恵と工夫と行動力を用いた「奇襲戦法」と「正面突破的」信念で、社内の人、社外の人にも大きな影響を与えつつ、行動していく姿です。本書に描かれているその姿は、何度でも読み返したくなる大きな要因です。

（中小企業診断士 都鳥）

「すみだ」の昔、本の一言

曳舟(2)

車掌が「曳舟通り」と声をかけたので、わたくしは土地の名のなつかしさに、窓硝子に額を押付けて見たが、木も水も何も見えない中に、早くも市営電車向嶋の終点を通り過ぎた。

『澤東綺譚』を構想していた永井荷風が、玉の井を見物した後、乗合自動車に乗って帰途につくという『寺じまの記』の最終の一節からの引用です。五十七歳の荷風が額を押付けるほど、曳舟という土地の名に何故興を起こしたのでしょうか。

「江戸芸術論」を著した荷風なら、前号に紹介した広重の「江戸名所百景・四ツ木通用引ふね」も、小林清親の「東京小梅曳船夜図」も脳裏に焼き付いていたことと思います。また、『断腸亭日乗』の昭和十一年一月三十日に書き留めた、馴染みの女性の最初に記された鈴木木かつは、向島曳舟通りに囲われていた芸者と説明があります。『向島』で荷風が、山の手から下町へ出て隅田の水を渡って逢いに行くのがいかにも詩のやうに美しく思われた」と記している女性です。

明治の曳舟川が美しかったことは、明治の異端の画家伊藤晴雨がその幼少期を記した『自画自伝』で「川幅は五間キツチリ、満水の折には清流岸を洗ひ、月清き夜は往返の舟の灯が汀の芦に見えつ隠れつ螢火点々として笹の葉に露をふくむ」と述べていることからわかります。

荷風が敬愛して止まない森鷗外の一家全員が故郷津和野から出て、最初に購入した家は曳舟川を望むところにありました(向島三の三十七)。鷗外の妹で文才のあった小金井善美子は「向島の家」で「木戸を開ければ、向うは曳舟通り迄、田園がはるばると見渡されて、馬を引いたり車を引いたりして通る人が見えた。それで、お兄い様が其頃お書きになるものに、牽舟居士と署名なすった様である。」と鷗外と曳舟のゆかりを記しています。

また、荷風は、パリの芸術家たちに習って、隅田川両国河畔の西洋料理店で懇談するというパンの会で同席していた、北原白秋の詩「片恋」を知らないはずはありません。

片恋

あかしやの金と赤とがちるぞえな。
かはたれの秋の光にちるぞえな。
片恋の薄着のねるのわがづれひ
曳舟の水のほとりをゆくころを。
やはらかな君が吐息のちるぞえな。
あかしやの金と赤とがちるぞえな。

曳舟通りに住んでいた孔版画家小針美男は『東京文学画帖』でこの詩を引用した後、「その曳舟川も、今ではすっかり埋めたてられて、おびたしい車が、凄まじい勢いで疾走している。」と記しています。曳舟川が埋め立てられたのは昭和二十九年のことです。生前の小針さんは白秋の「片恋」の詩碑がこの通りに欲しいものだ、よくおつしやっていました。

さて、紙面も尽きてまいりましたが、堀辰雄と佐多稲子のことを追加します。

堀辰雄は『幼年時代』で、おままこと相手のたかちゃん、そつと家を抜け出して冒険した曳舟通りを「もう掘割沿ひの工場や倉庫なんかもずつと数少なになつて、そこいらには海のやうな野原が広がりだしていた。」と懐かしい思い出を書いていきます。

佐多稲子は、関東大震災の時、勤め先の日本橋の丸善から死体の浮かぶ曳舟川近くの長屋に帰って、母や弟と資生堂工場の空き地で一晚を過ごしています(『私の東京地図』)。長屋は、現在曳舟通りにあるイトーヨーカ堂の場所であり、資生堂工場は向かいのファミリーレストランとマンションのあるところにありました。

曳舟という地名が、荷風が思い描くよつに、ある意味、絵画的文学的情趣を持ち、時代とともに変遷してきたことがお分かりいただけでしょう(参考) (真津志麻記)

(参考)

『荷風全集第17巻』(寺じまの記)収録)

ID: 21175119

『荷風全集第23巻』(断腸亭日乗3)収録)

ID: 21175123

『北原白秋詩集』(「片恋」収録)

ID: 11209552

『伊藤晴雨自画自伝』

ID: 316422724

『近代作家研究叢書』(向島の家)収録)

ID: 111422249

『東京文学画帖』

ID: 11084681

『堀辰雄全集第6巻』(幼年時代)収録)

ID: 11084681

『佐多稲子全集第4巻』(私の東京地図)収録)

ID: 11084681

墨田区立図書館・図書室 6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						1 八「おはなしとあそびのじかん」 10:30~ ひ「おはなしのじかん」11:00~ 立「おはなし会」 14:00~ 東「おはなしのもり」15:00~ 梅「おはなし会」 15:00~
2	3 東・梅・横 コミュニティ 図書室休館	4	5	6 緑「小さい子どものためのおはなし会」10:30~	7 横「おはなしのじかん」15:45~	8 八「おはなしとあそびのじかん」 10:30~ ひ「おはなしのじかん」15:00~ 立「おはなし会」 14:00~ 梅「おはなし会」 15:00~
9	10	11	12 八「おひざでえほん」11:00~	13	14 横「おはなしのじかん」15:45~	15 八「おはなしとあそびのじかん」 10:30~ 立「おはなし会」 14:00~ ひ「おはなしのじかん」15:00~ 梅「おはなし会」 15:00~
16	17	18 東「おはなしれっしゅ」10:30~	19 緑「おはなしのへや」15:15~	20 館内整理日 全館休館	21 横「おはなしのじかん」15:45~	22 八「おはなしひろば」10:30~ 立「おはなし会」 14:00~ ひ「おはなしのじかん」15:00~ 梅「おはなし会」 15:00~
23	24	25 ひ「おひざでえほん」10:30~	26 	27	28 横「おはなしのじかん」15:45~	29 立「おはなし会」 14:00~
30						

ひきふね図書館
京島1-36-5
電話: 5655-2350

緑図書館
緑2-24-5
電話: 3631-4621

立花図書館
立花6-8-1-101
電話: 3618-2620

八広図書館
八広5-10-1-104
電話: 3616-0846

**東駒形コミュニティ
会館図書室**
東駒形4-14-1
電話: 3623-1141

**梅若橋コミュニティ
会館図書室**
堤通2-9-1
電話: 3616-1101

**横川コミュニティ
会館図書室**
横川5-9-1
電話: 5608-4500

すみだ女性センター
押上2-12-7-111
電話: 5608-1771

【開館時間】
ひきふね図書館 月曜日~土曜日・・・9:00~21:00
こどもとしよじつは18:00までです
日曜日・祝日・・・9:00~17:00
その他図書館 火曜日~土曜日・・・9:00~20:00
日曜日・月曜日・祝日・・・9:00~17:00
コミュニティ会館図書室は、月曜日の開館時間が 9:00~20:00 です。

【休館日】
館内整理日《毎月第3木曜日(祝日にあたる場合は翌日)》、年末年始、特別整理期間
コミュニティ会館図書室は、毎月第1月曜日も休館日です。